

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月29日

上場会社名 SBIリーシングサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5834 URL <https://www.sbils.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐藤 公平
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉原 寛 TEL 03(6229)1080
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：有（決算説明動画を公開予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,419	321.7	2,571	110.3	2,397	98.5	1,568	91.7
2025年3月期第1四半期	2,470	△80.9	1,223	13.8	1,207	14.7	817	8.9

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 1,730百万円（318.6%） 2025年3月期第1四半期 413百万円（△28.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	198.91	195.98
2025年3月期第1四半期	105.19	103.78

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	108,512	25,620	23.6
2025年3月期	105,777	25,173	23.8

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 25,564百万円 2025年3月期 25,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	170.00	170.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		50.00	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日を基準日とする配当予想額は未定であります。

連結配当性向30%以上を目処として、安定・継続的な利益成長と財務上の安全性等を総合的に勘案し決定する方針です。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,600	49.3	8,200	21.9	7,000	15.1	4,800	9.4	608.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	7,898,000株	2025年3月期	7,878,800株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	74株	2025年3月期	74株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	7,884,278株	2025年3月期1Q	7,776,726株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明資料の入手方法について）

当社は、決算説明動画（録画形式）を当社ウェブサイトにて公開する予定です。

決算説明資料につきましても当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、賃上げが進展する一方で、食品を中心に財・サービス価格の上昇が続いており、実質賃金の改善が追いつかない状況となっています。そのため、消費者の物価上昇に対する懸念から消費行動に慎重さがみられるようになり、個人消費の回復は期待しにくい状況にあります。また、米国の関税措置の影響により、自動車を中心とした輸出産業へ懸念が高まり、企業の業績見通しに不透明感が出つつあります。さらに、日銀による政策金利の据え置きや、今年度の実質GDP成長率見通しの下方修正もあり、国内の景気回復の足取りは全体として鈍化傾向にあります。

海外経済においては、米国で消費者物価の上昇が継続している一方、将来の景気減速懸念からFRBによる利下げの可能性が示唆されており、経済・金融情勢の変動を背景に、円ドル相場の変動性が高まっています。さらに、中東情勢やウクライナ情勢といった地政学的リスクに加え、米中貿易摩擦におさまりが見えないなど、国内外の社会経済環境は、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域である航空業界では、航空旅客需要が堅調に推移しており、特に国際線を中心に顕著な伸びを示しています。一方で、航空機メーカーにおける製造上の課題や部品供給の遅延、慢性的な人手不足に加え、金利・為替の変動や地政学的リスクに伴う運航コストの上昇といった経営課題は、依然として解消されていません。さらに、米国が各国との関税交渉を進める中、航空機や自動車分野において、各国と米国との間で詰め協議が行われています。航空機及びその部品の関税動向は、航空機市場の価格形成やサプライチェーンにも影響を及ぼす可能性があり、今後の動向に注視が必要です。また、カーボンニュートラルの実現に向けた環境対応など、構造的かつ長期的な変化についても、引き続き注視していく必要があります。

海運業界では、中東情勢やウクライナ情勢等を受けた航行ルートの変更や航行日数の長期化などに伴い、船価や運賃などの海運市況は船種や市場環境によって異なるものの、全体として概ね堅調に推移しております。一方で、米国による追加関税措置の影響による貨物の動きが減少するなど、社会経済環境の変化に対しては引き続き注視する必要があります。また、新燃料船の導入や運航効率の改善といった環境規制対応も、長期的な課題として注目されます。

このような国内外の環境のなか、商品組成においては、引き続き多様なお客さま（投資家）ニーズに応えるべく、パートナーのみならず年間を通して安定的な商品供給が可能となるよう、JOLCO・JOL、航空機・船舶、リース期間の長短などを組み合わせた魅力ある案件の組成・販売に注力いたしました。

商品販売では、JOLCO商品について、競争力のある多様で十分な商品残高の確保と積極的に営業活動に取り組んできた結果、第1四半期連結累計期間として過去最高の販売金額となりました。また、JOL商品は、顧客ニーズを的確に捉えた提案・販売推進により、1機を販売いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高10,419百万円（前年同四半期比321.7%増）、営業利益2,571百万円（同110.3%増）、経常利益2,397百万円（同98.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,568百万円（同91.7%増）となりました。

また、商品組成金額は95,802百万円（前年同四半期比6.9%増）、商品出資金等販売金額は34,242百万円（同46.4%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は97,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,005百万円増加いたしました。これは主に、前渡金が6,271百万円、商品出資金が3,299百万円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が2,594百万円、販売用航空機等が10,712百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は10,763百万円となり、前連結会計年度末に比べ271百万円減少いたしました。これは主に、賃貸資産が減価償却により164百万円、繰延税金資産が114百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は108,512百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,734百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は73,218百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,412百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が1,073百万円、契約負債が1,329百万円それぞれ減少しましたが、短期借入金が2,623百万円、コマーシャル・ペーパーが2,000百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は9,672百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が125百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は82,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,287百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は25,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ447百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,568百万円、繰延ヘッジ損益の増加162百万円及び剰余金の配当1,339百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年4月28日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,936	11,530
営業未収入金	937	1,063
前渡金	6,446	174
商品出資金	51,778	48,478
販売用航空機等	25,488	36,200
その他	1,156	300
流動資産合計	94,742	97,748
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	7,511	7,347
貸貸資産合計	7,511	7,347
社用資産		
建物附属設備	56	55
工具、器具及び備品	3	3
社用資産合計	60	58
有形固定資産合計	7,571	7,405
無形固定資産		
のれん	204	191
ソフトウェア	52	49
無形固定資産合計	257	241
投資その他の資産		
関係会社株式	344	374
関係会社出資金	117	117
繰延税金資産	2,633	2,519
その他	109	105
投資その他の資産合計	3,205	3,116
固定資産合計	11,034	10,763
資産合計	105,777	108,512

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	51,000	53,623
コマーシャル・ペーパー	3,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	8,632	8,632
未払金	377	561
未払法人税等	1,898	825
契約負債	4,960	3,631
賞与引当金	174	224
その他	763	720
流動負債合計	70,806	73,218
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	4,770	4,644
資産除去債務	27	27
固定負債合計	9,798	9,672
負債合計	80,604	82,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,150	1,172
資本剰余金	4,031	4,053
利益剰余金	19,789	20,018
自己株式	△0	△0
株主資本合計	24,971	25,244
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	156	319
その他の包括利益累計額合計	156	319
新株予約権	44	56
純資産合計	25,173	25,620
負債純資産合計	105,777	108,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,470	10,419
売上原価	267	6,489
売上総利益	2,203	3,930
販売費及び一般管理費	980	1,358
営業利益	1,223	2,571
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
商品出資金売却益	136	140
為替差益	19	3
その他	0	0
営業外収益合計	156	143
営業外費用		
支払利息	162	295
支払手数料	9	22
営業外費用合計	171	318
経常利益	1,207	2,397
税金等調整前四半期純利益	1,207	2,397
法人税、住民税及び事業税	519	786
法人税等調整額	△129	42
法人税等合計	389	828
四半期純利益	817	1,568
親会社株主に帰属する四半期純利益	817	1,568

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	817	1,568
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△404	162
その他の包括利益合計	△404	162
四半期包括利益	413	1,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	413	1,730

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

当社においては、オペレーティング・リース事業に必要な運転資金の効率的な調達を行うため、金融機関と当座貸越契約及び貸出コミットメントライン契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額	92,550百万円	91,550百万円
借入実行残高	51,000	49,800
差引額	41,549	41,749

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	168百万円	169百万円
のれんの償却額	13	13

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、オペレーティング・リース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。